体内には善玉菌・悪玉菌・日和見菌が共存しています

善玉菌を多くすることで日和見菌も味方にし、体内環境を良くしていきます。

天然由来であること

薬や抗生物質
食品添加物は

悪玉以外にも善玉も痛めつける　“ 毒 ”にもなります。

体内で分解しにくく堆積しやすい。

堆積したものが体のストレスになります。　アレルギー

天然由来の食品は

五臓六腑で消化吸収し体全体にエネルギーを届けます。

善玉優位の体を作ります。

分解・排泄を促進することで、体内の環境を整えます。

天然由来で免疫力UP!

ＥＭにできること　人や動物、環境を元気にする

ホームページ

微生物が土も野菜も元気にしてくれます

発酵力のある善玉菌（酵母菌・乳酸菌・光合成細菌）が
土をふかふかにして野菜に栄養分をたくさん供給します。
それが野菜を元気に、それを食べる私たちの腸内も元気にしてくれます。

無農薬ですくすく＆たわわ

ＥＭ活性液を作って畑に散布しています

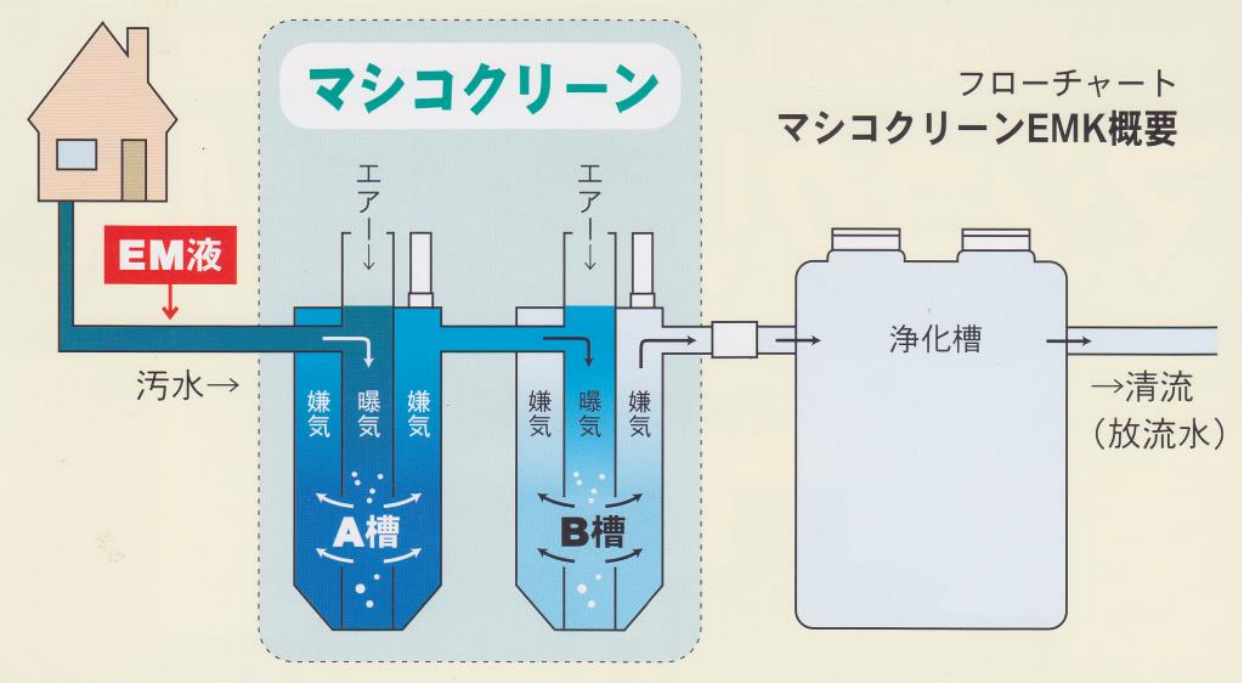
EM活性液培養中

「獣害対策にも効果的です」

消臭スプレイ、洗濯、お風呂にも
幅広く使っています。

ＥＭで汚泥とニオイを発酵分解しています

マシコクリーンは有用微生物群（EM菌）の特性である 抗酸化力
を最大限に引き出して厨房・トイレから出る**強烈なギトギト油・洗剤・汚水・ニオイを分解・浄化**する画期的な装置です。



ベーカリー　手打ち蕎麦　レストラン　ステーキ店　軽食・喫茶

お客様の笑顔が満足を物語っています

株式会社レックEM益子

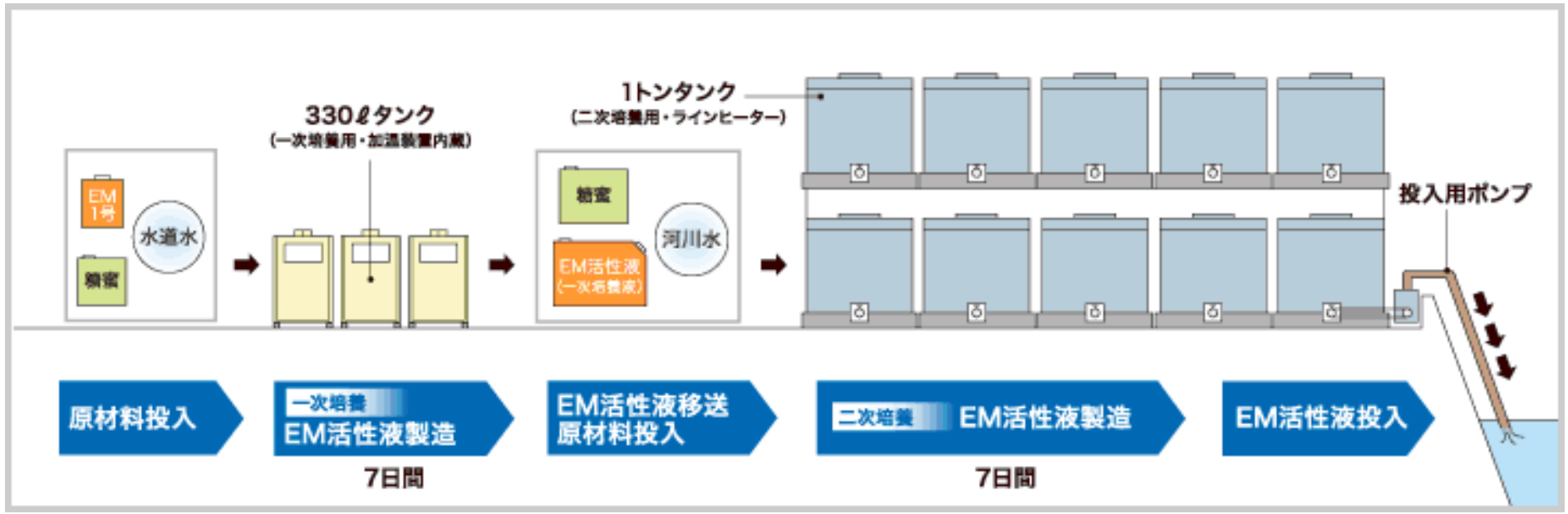
ホームページ

ＥＭで河川浄化しています

NPO法人
日本橋川・神田川に清流をよみがえらせる会
The meeting which revivifies noble lineage in Nihonbashi River & Kanda River

日本橋川・神田川浄化「EM活性液製造プラント」の仕組み

10Lの種菌EM1号から、約1,000倍のEM活性液を培養し、毎週10トンを河川に投入しています。



ホームページ

ＥＭで河川浄化しています

2006年から沢山の企業・団体が参加しています

法人・企業会員様

2019年2月28日現在

株式会社 日建設計（東京都千代田区）
株式会社 大塚商会（東京都千代田区）
日本ホテル 株式会社
ホテルメトロポリタンエドモント（東京都千代田区）
KDDI 株式会社（東京都千代田区）
三井不動産ビルマネジメント 株式会社（東京都千代田区）
大和ハウス工業 株式会社 東京支社（東京都千代田区）
日本貨物鉄道 株式会社（東京都渋谷区）
財団法人 特別区協議会（東京都千代田区）
東京都国民健康保険団体連合会（東京都千代田区）
株式会社 東日本銀行 飯田橋支店（東京都千代田区）
株式会社 京王設備サービス（東京都新宿区）
前田建設工業 株式会社（東京都千代田区）
株式会社 大塚ビジネスサービス （千葉県柏市）
日本住宅ローン 株式会社（東京都文京区）
有限会社 ユウ企画（東京都新宿区）
新ケミカル商事 株式会社（東京都千代田区）
リコージャパン 株式会社（東京都中央区）
野村不動産 株式会社 （東京都新宿区）
日本アスペクトコア 株式会社 （東京都港区）
株式会社 日建設計シビル （東京都文京区）
日本郵便逓送 株式会社 （東京都港区）
株式会社 クリエ （東京都千代田区）
株式会社 都プロセス （東京都新宿区）
株式会社 トランスアーツ （東京都千代田区）
有限会社 東京水上倶楽部 （東京都新宿区）
株式会社 日建ハウジングシステム （東京都文京区）
株式会社 芝居旅行 （東京都新宿区）
株式会社 昌平不動産総合研究所 （東京都千代田区）
住友不動産 株式会社 （東京都千代田区）
株式会社 ホリック（東京都新宿区）
有限会社 鳥千（東京都新宿区）
株式会社 サンワ（東京都千代田区）
弁慶濠ボートハウス（東京都千代田区）
わくわくすいすい水辺探検（東京都千代田区）
和　高田馬場（東京都新宿区）

NPO法人
日本橋川・神田川に清流をよみがえらせる会
The meeting which revivifies noble lineage in Nihonbashi River & Kanda River

町会・団体会員様

2019年2月28日現在

大手・丸の内町会
九段一丁目町会
九段二丁目町会
九段三丁目町会
九段四丁目町会
富士見一丁目町会
富士見二丁目町会
飯田町町会
飯田橋町会
神保町三丁目町会
西神田三丁目町会
神田三崎町町会
一神町会
錦町一丁目町会
神田錦町二丁目町会
錦町三丁目町会
内神田鎌倉町会
神田橋町会
内神田旭町町会
駿河台西町会
神田三崎町会
司町二丁目町会
多町一丁目町会
東神田町会
神田和泉町町会
紀尾井町町会
神田佐久間町三丁目町会
淡路町一丁目町会

このページのトップへ

本会の活動に対してご支援・ご協力いただいている団体様

2019年2月28日現在

千代田区役所 （東京都千代田区）
社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会 （東京都千代田区）
ちよだボランティアセンター （東京都千代田区）
名橋「日本橋」保存会 （東京都中央区）
まちふねみらい塾（東京都中央区）
NPO 地球環境・共生ネットワーク （東京都港区）
NPO 戸田ピープルネット（埼玉県戸田市）
神田川船の会 （東京都千代田区）
イーエム総合ネット （愛知県名古屋市）
NPO 緑の会 （茨城県取手市）
NPO川に学ぶ体験活動協議会（東京都北区）

ホームページ

災害が起こったらＥＭをまこう

EMが開発されて30余年。
世界中でEMパートナーの通例となっている合言葉。
スマトラ島沖地震（2004年）、ハイチの大地震（2010年）、タイの大洪水（2011年）等々
そして、2011年3月11日　東日本大震災。
国家レベル・個人レベルで災害対策にEMは活用されています。

ホームページ

ＥＭの迅速な対応で、悪臭被害などを最小限に

東日本大震災で被災した岩手県内の市町村では、水産業を主体とする産業構造のため、大型冷凍倉庫から流出した大量の冷凍魚介の処理が大きな問題になっていました。行政からの要請により、EMによる埋設処理が行われています。

国家プロジェクトとして
悪臭対策や水質改善にEMを有効活用

タイでは2011年3月に南部で豪雨と高波による洪水が発生。その後、上流のダムの放水、台風、大潮などが重なり、年末まで中部や首都バンコク周辺へも被害が及びました。現在は大部分の地域で復興の段階に入っていますが、洪水時の水質改善や悪臭対策にEMが威力を発揮しました。

ＥＭで家畜も元気

タイのモデル農場では健康野菜の生育、家畜の飼育に使われています。

ホームページ

EMの力によって蘇った沖縄のリゾートホテル

コスタビスタ沖縄

コスタビスタ沖縄の建物は、米国の統治時代に建設が開始され、沖縄の本土復帰の1972年に開業した旧ヒルトンホテルで、当時の沖縄県におけるNo.1のホテルでした。その後シェラトンホテルに替わり、1990年代の始めのバブル期に他のグループに買収されましたが、改装途中で倒産し、そのまま放置されていました。太平洋と東シナ海が一望できる高台にあり、沖縄のステータスシンボル的なホテルで大勢の人々の思い入れもありました。

小高い丘に立つコスタビスタ

まずは建物全体をEM活性液で徹底的に洗うことから始まりました。使用されたEM活性液は600t余、外壁はペンキを塗り替えたようにきれいになり、すがすがしくなりました。鉄筋が腐食した部分は、はぎ取ってEMセラミックスとEMを混和して補修し、ペンキ・クロス・家具・寝具などすべてのものをEMやEMセラミックス等で処理し、玄関口のコンクリートをはじめ、道路の舗装や造園もEM技術を活用しました。

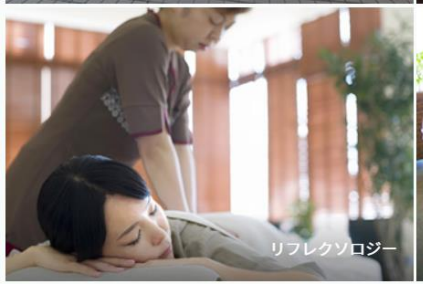
ＥＭに抱かれた素敵なホテルになりました

ＥＭスパ

EM・X　GOLD配合の展望大浴場

ドライ＆ミストサウナ

EMスパコラソン


リフレクソロジー

EMカプセル

EMリングストーントリートメント

タオルやベッドリネン類の洗濯から室内の清掃に至るまで、化学物質の影響を抑えたものや天然素材のホテルオリジナルの発酵液を使用しています。

夜景が綺麗なデラックスツイン

ゆっくり過ごせるツインルーム

琉球畳を使った和室

リネンの洗濯もノンケミカル

嬉しいEMのアメニティ

野菜もエビも卵も自社栽培

美味しさと健康にこだわった安全な食材

EMで作った無農薬新鮮野菜

絶対に食べて欲しいEMトマト

抗生物質なしEMで育った「結のエビ」

契約農家から届くEM米

スペイン産EMオリーブオイル

抗生物質・消毒不使用の環境からできた「まなたまご」

ホームページ

地球蘇生への道筋を ドキュメンタリーで描く。

映画

ＥＭの商品

健康と食・キッチン雑貨

EM･X GOLDをはじめとした健康食品や、EM有機栽培のお茶など日々の食にEM食品をプラスして、体の中から健康に。

掃除・洗濯・日用品

身体にも環境にも安全なお掃除・洗濯用品。赤ちゃんやペットなどがいる家庭でも安心してご使用いただけます。

美容・スキンケア

ロングセラーのシャボン玉せっけんや人気のプロハーブ商品をご用意しております。

家庭菜園

EMで作った野菜は甘くておいしいと評判。微生物のチカラを家庭菜園から体験してみてください。

ホームページ

シャボン玉シリーズ

無添加石けんのパイオニアシャボン玉石けん。天然油脂をじっくり反応させ、化学合成物質を一切使用していません。家族へのやさしさは環境へのやさしさでした。

プロハーブシリーズ

国内で初めてプロポリスを化粧品に使用したプロハーブシリーズ。殺菌作用が高いのにお肌にやさしいプロポリスとハーブの力で、素肌をゆっくり整えます。

エンバランスシリーズ

洗っても効果が持続する鮮度保持機能が付いたエンバランスシリーズ。鮮度を長持ちさせて、食品も人も元気にします。

EMセラミックスシリーズ

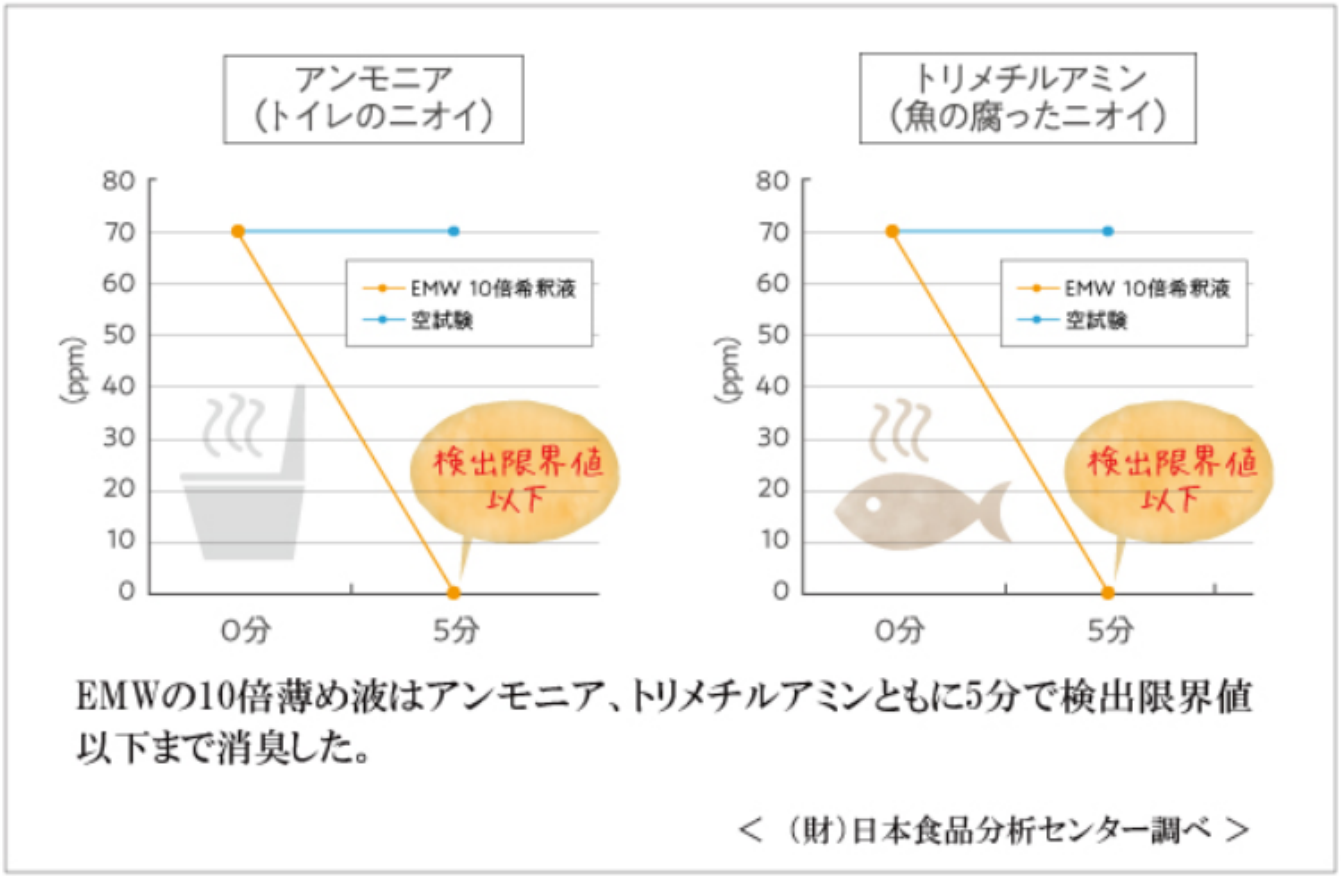
EMを粘土に練り込んで焼き上げたEMセラミックスシリーズ。飲料水保存、家庭菜園など、様々なシーンで快適さを作り出してくれます。

ＥＭで消臭！

善玉菌が嫌なニオイを消臭! 抜群の消臭能力です。EMに含まれる乳酸などの有機酸をはじめ、微生物が作る有効成分で悪臭を除去します。
継続的に使用することで悪臭を発生させる悪玉菌を抑え、悪臭を元から解消します。実験によると、EMWの10倍薄め液はアンモニア、トリメチルアミンともに5分で検出限界値以下まで消臭することが出来ました。トイレや台所、ペットなどニオイが気になるところに薄めて撒いてみて下さい。

掃除から始める発酵空間づくり

YouTube



EMWの10倍薄め液はアンモニア、トリメチルアミンともに5分で検出限界値以下まで消臭した。

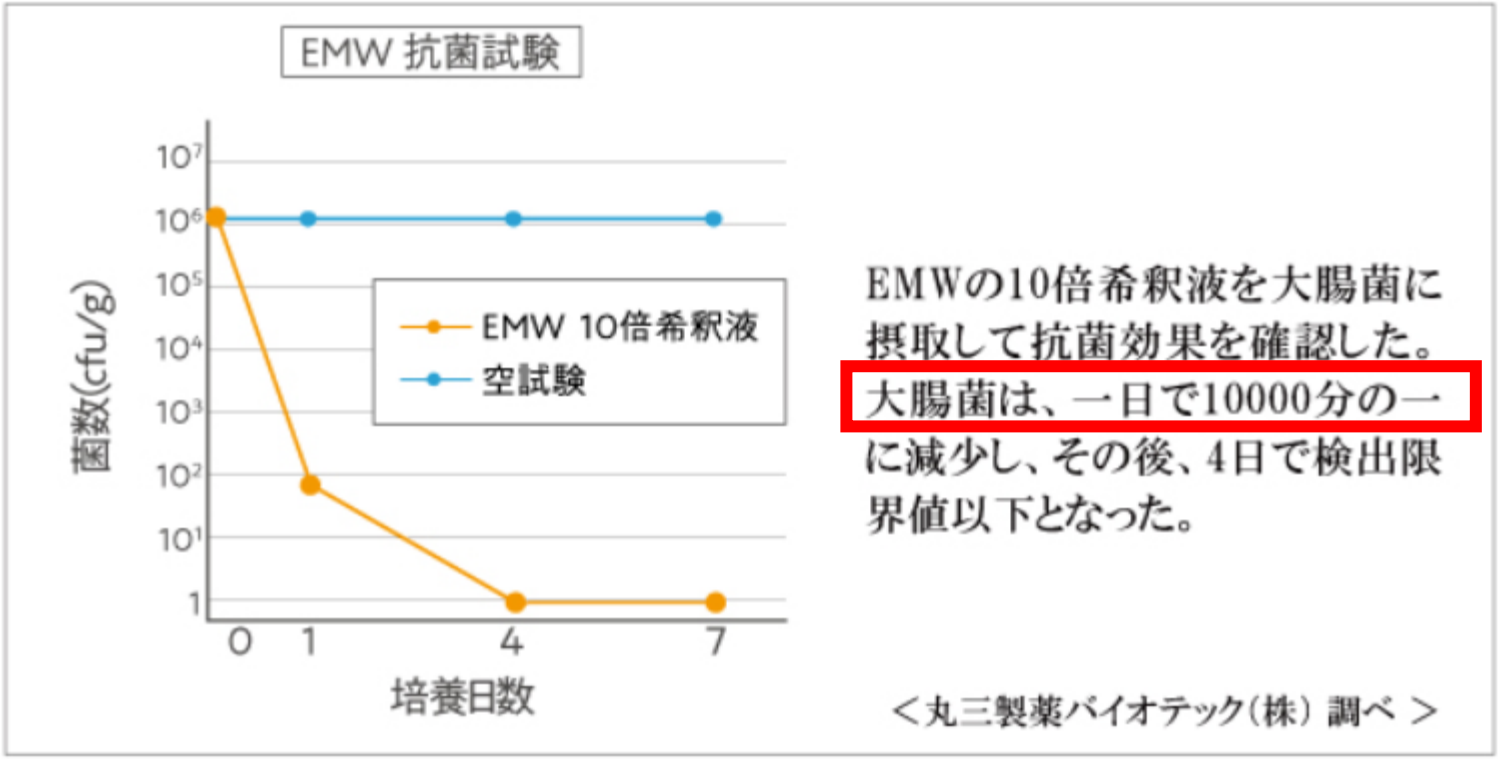
＜（財）日本食品分析センター調べ＞

ＥＭで悪玉菌を抑制

病原菌の発生を抑制します。乳酸菌をはじめとする微生物と有効成分が病原菌の繁殖を抑え、清潔な空間を保ちます。実験によるとEMWの10倍希釈液を大腸菌に摂取して抗菌効果を確認しました。なんと、大腸菌は、１日で1万分の1に減少し、その後、4日で検出限界値以下となりました。
菌が繁殖しやすいマットレスや台所のスポンジ、排水溝など菌が繁殖しやすい場所にEMWを使ってみて下さい。

掃除から始める発酵空間づくり

ホームページ



ＥＭＷで発酵空間を作ってバリアをつくりましょう

掃除から始める発酵空間づくり

ホームページ

善玉菌でバリア中!

ＥＭＷを噴霧して善玉菌優位の環境を作っています。

発酵環境を作る

EM生活®

ＥＭ
酵母菌・乳酸菌など善玉菌の集合体です。

ハウスケア用発酵液
EMW
イーエム ダブリュ
安心の天然素材で
快適お掃除&消臭

ＥＭは3.11大震災、日本橋川などの
河川湖沼浄化など、国内外で沢山
使われています。

マスクや上着にも吹き付けてください。
消臭効果もあります。

ぴんぴんマルシェ

感染症対策のポイント

病原体から身を守る免疫力とは

ウイルスは果てしなく小さいので、マスクで侵入を防ぐことは不可能です。
うがいはしないよりはした方がましと言える程度のものです。
手洗いは小まめに行うに越したことはありませんが、それでも感染を防ぐことは不可能です。

古いものは食べないことや、加熱処理・防虫などの対策を立てましょう。
ある程度の清潔を保ち、残りの殆どはご自身の**免疫力で防御**することが最善です。

感染しないこと、発症させないこと

全ての人に備わっている防御システムが免疫です。
免疫担当細胞と呼ばれるものが全身くまなく巡回して病原体を排除しています。

腸内環境を整えることによって、抗加齢作用・抗動脈硬化作用・抗高血糖作用・抗血栓化作用・
抗アレルギー作用・免疫力の高値安定化作用が分かっています。
免疫力が高まれば抗がん効果も高まるのは当然です。

ホームページ

開発者 比嘉照夫教授

名桜大学付属国際EM技術研究所所長。

琉球大学名誉教授。

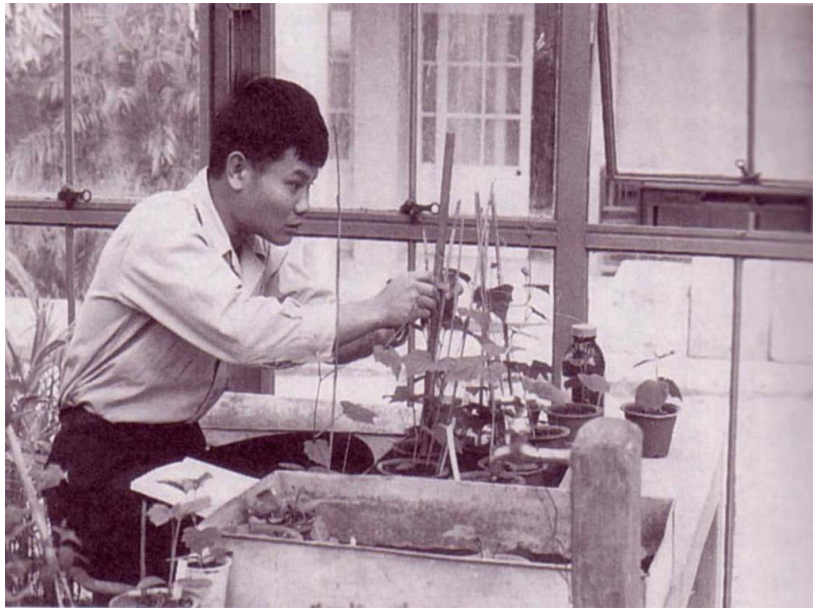
アジア・太平洋自然農業ネットワーク会長、

（公益財団法人）自然農法国際研究開発センター評議員、

NPO法人 地球環境・共生ネットワーク会長、

農林水産省・国土交通省提唱
「全国花のまちづくりコンクール」審査委員長。

EMの開発秘話



ホームページ

EMは比嘉照夫琉球大名誉教授によって1982年に開発され、以来現在にいたるまで、世界中で多くの国で活用されてきました。
比嘉照夫名誉教授がEMの着想を得たのは1968年頃。当時、九州大学でミカンの研究に携わり、ホルモン、微量要素、有機肥料、微生物など、ミカンの品質に良いと思われるあらゆる資材を研究し、その過程で、微生物の可能性というものを強く認識するようになります。
微生物の活用にも興味を持つ一方、子供の頃から農業に携わり、農業は手間がかかり重労働だということを知っていた比嘉教授は、同時に化学肥料や農薬も使用していました。それが体調の悪化をきっかけに化学物質に頼りすぎる農業のあり方を考え直し、サイドワークだった微生物の農業への有効利用に本腰を入れるようになります。
比嘉教授が研究で扱っていた微生物は人間が口に入れても差し支えないようなものばかりだったので、日々の終わりに同じバケツに入れて始末していたところ、偶然の発見に出会います。バケツの中身を付近の草むらにまいてみたところ、一週間後にその草むらだけが異常に成長していたのです。そのときに、「微生物の組み合わせ」という発想が生まれ、多くのトライ・アンド・エラーを重ねながら、「このグループなら、作物がよく育ち、病気にもならない。収量も増えるし、味もよくなる」という微生物の複合体、ＥＭが誕生したのです。